

論文

韓国・タイ・シンガポール・日本の大学生の高齢者イメージ

金 恵媛*, 畔津 忠博*, 吉永 敦征*, Han Dong Hee**,
Kim Young Soon[†], Sumpowthong Kaysorn^{††}, Thang Leng Leng[‡]

University Students' Perceptions of Aging in S. Korea, Thailand, Singapore and Japan

Hyeweon Kim*, Tadahiro Azetsu*, Nobuyuki Yoshinaga*, Han Dong Hee**,
Kim Young Soon[†], Sumpowthong Kaysorn^{††}, Thang Leng Leng[‡]

* Yamaguchi Prefectural University

** Research Institute of Science for the Better Living of the Elderly

[†] Konyang University

^{††} Thammasat University

[‡] National University of Singapore

キーワード：高齢者イメージ、大学生、SD法、4 各国比較

Keywords : Perceptions of the elderly, University students, Semantic differential method, Comparison
among four countries

要旨

本論文では、韓国・タイ・シンガポール・日本の大学生を対象として2016年と2018年に行った、大学生が抱く高齢者イメージの調査結果をもとに、4 地域での共通点や相違点を明らかにする。なかでも、祖父母との同居経験及び、祖父母への世話経験が大学生の高齢者イメージの生成に及ぼす影響について検証する。

Abstract

In this paper the discussion is focused on a difference and common point about university students' perceptions of the elderly people between South Korea, Thailand, Singapore and Japan. The image of the elderly is acquired from a questionnaire carried out in four countries on 2016 and 2018. Especially, we verify the influence of a living together experience with grandparents and a caring experience for grandparents on the generation of university students' perceptions of the elderly.

1 はじめに

高齢化社会における世代間連携については可能な限り家族が担うという考えから社会と共同で担うという考えに変化しているように、連帯の範囲が広がりがつつある。このとき、社会全体においてより実態に近い高齢者イメージを形成することが、世代間連携を円滑に進める上で重要となる。

なぜなら、社会全体における対人関係の変化とともに高齢者と若者の接点に変化し、接触経験も減少する傾

向にあり、高齢者イメージの生成について、直接の経験を通じた実際の情報ではなく、メディア等における漠然とした情報が強く影響することが懸念されるからである。

また、高齢者イメージは、社会文化的背景や高齢化の状況により、国や地域ごとに違いがあることが予測される。あるいは、これとは逆に国や地域に依存しない共通点が存在することも考えられる。

本研究では、高齢化社会における世代間の連携について基礎データを収集するために、韓国・タイ・シ

ンガポール・日本の4地域の大学生を対象として、大学生が抱く高齢者イメージの調査を行った。その調査結果をもとに、4地域の大学生が抱く高齢者イメージの共通点や相違点について比較検討を行う。また、大学生と高齢者との関わり、とりわけ、祖父母との同居経験及び、祖父母への世話経験が高齢者イメージの生成に及ぼす影響の存在についても検証する。

2 調査方法

アジア4地域の大学生が抱く高齢者イメージ、及びそのイメージを生成する要因・背景を調査するために、韓国・タイ・シンガポール・日本の大学でアンケート調査を行った。

日本と韓国においては、2016年6月に先行的に調査を行い⁽¹⁾⁽²⁾、2018年5月にシンガポールとタイで、同じ質問項目を用いてアンケートを実施した。

アンケート内容として、SD法を用いた高齢者に対するイメージ、高齢者で思い浮かべる人、高齢者に対する普遍的な考え方、各環境における高齢者の処遇に対する意見、また、祖父母との同居・世話経験の有無などを調べた。

アンケート項目の策定にあたっては、堀・大谷の調査票⁽³⁾を参考にしたが、インターネットによる情報収集が一般的になった現代的な事情への考慮に加え、国際比較を行いやすい項目の一部の変更を行った。調査対象者は、日本312名、韓国300名、シンガポール114名、タイ101名であった。

アンケートは匿名で行い、日本では日本語で、韓国では韓国語、シンガポールとタイでは英語で作成された質問項目に回答してもらい、その場で回収した。項目によって未回答のものもあったが、すべての回答者の結果を用いた。なお、分析には、SPSS 24.0を使用した。

3 調査内容および結果

本アンケートは、第1にSD法を用いて具体的な高齢者イメージを収集し、第2に質問項目から高齢者に対する規範意識、社会における高齢者の位置づけ、高齢者との関わりについて、4か国の大学生が抱く考えや状況を収集し、分析を行った。

3-1 SD法による高齢者イメージ

5段階の尺度をもつSD法を用いて34個の対となる言葉により高齢者イメージの調査を行った。下記は日本語、韓国語、英語で、それぞれ記述したアンケート内容であり、用いた対となる言葉の一部を示している。

日本語

あなたは「老人」についてどのようなイメージをお持ちですか。以下の項目を見て、あなたの老人イメージに該当するところに○を付けてください。

①非常にそう思う ②まあまあそう思う
③どちらともいえない ④まあまあそう思う ⑤非常にそう思う

	①	②	③	④	⑤	
消極的 尊敬できない 経験が少ない						積極的 尊敬できる 経験が多い

韓国語

귀하는 “노인”에 대해 어떤 이미지를 가지고 있습니까? 아래 항목을 보고, 귀하의 노인 이미지에 해당하는 곳에 ○를 표시해 주십시오.

①매우 그렇다 ②대체로 그렇다 ③어느 쪽이라고도 말할 수 없다 ④대체로 그렇다 ⑤매우 그렇다

	①	②	③	④	⑤	
소극적 존경스럽지 않다 경험이 적다						적극적 존경스럽다 경험이 많다

英語

What is your impression of “elderly” people? For each pair of words, tick (✓) one column ((1), (2), (3), (4), or (5)) to indicate the nature of the association you would make between elderly people and either of each of the opposing qualities shown in the list below.

(1)Strong association (2)Moderate association
(3)Neither (4)Moderate association (5)Strong association

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
Hesitant not worthy of respect inexperienced						Assertive worthy of respect Experienced

図1¹に結果を示す。SD法による高齢者イメージは、グラフの概形を見るとわかるように、4か国で類似しているように見える。ただし、例えば、タイにおいて「非生産的—生産的」、「無愛想—愛嬌がある」の評価値が、他の国と比べ高いなど、質問項目ごとに比較すると違いも認められる。

そこで、各対となる言葉ごとに分散分析を行い4か国で平均値に違いがあるか調べた結果、28項目で有意差が認められた。このことから、地域によって高齢者のイメージは大きく異なっていることがわかる。

一方で、有意差がなかったものは、「バラ色—灰

1 図1～図4は本文の後に掲載。

色」、「忙しい暇だ」、「能動的-受動的」、「否定的-肯定的」、「理性的-感情的」、「きれいだ-きたない」の6つであった。これらの項目は、4か国で共通する高齢者イメージと考えられる。

3-2 具体的な高齢者イメージ

大学生が思い浮かべる高齢者がどのような人なのかを知るために、以下の質問を行った。

日本語

老人と聞くとどんな人を思い浮かべますか？該当する番号をすべて書いてください。()

①あなたの祖父母 ②近所の隣人 ③ドラマや映画、小説に出てくる老人 ④病院や施設などで会う老人 ⑤地域活動で会う老人 ⑥宗教活動で会う老人 ⑦新聞、TV、雑誌、インターネットのニュースや報道に出る老人 ⑧趣味活動で会う老人 ⑨その他(具体的に) () ⑩思い浮かぶ人はいない。

韓国語

노인이라고 하면 어떤 사람을 떠올리십니까? 해당하는 번호를 모두 써 주십시오.()

①귀하의 조부모님 ②이웃 노인 ③드라마나 영화, 소설에 나오는 노인 ④병원이나 시설 등에서 만나는 노인 ⑤지역활동에서 만나는 노인 ⑥종교활동에서 만나는 노인 ⑦신문, TV, 잡지, 인터넷 뉴스나 보도에 나오는 노인 ⑧취미활동에서 만나는 노인 ⑨기타(구체적으로:) ⑩생각나는 사람이 없다

英語

What kind of people do you think of when you think of elderly people? Please make a choice from the following list. You may select as many choices as you feel are appropriate. (Write the number of your choice(s) here:)

(1)your own grandparents (2)neighbors (3)elderly people in dramas, in films, or in novels (4)people you meet in hospitals or care-homes (5)people you meet doing community activities (6)people you meet through religion (7)elderly people in newspapers, on TV, in magazines, or appearing in internet news reports (8)people you meet through common interests (9)other elderly people (please specify) () (10)no-one comes to mind

図2に結果を示す。シンガポールでは高齢者で思い浮かべる人として、メディアに出てくる人を思い浮かべる割合が他の国に比べ非常に大きいことがわかった。これについては、シンガポール政府が社会をあげて“Pioneer generation”⁽⁴⁾をキャンペーンとして展開していることが影響している可能性がある。

3-3 高齢者に対する規範意識

大学生が抱いている高齢者についての普遍的な考え方について知るために、以下の質問を行った⁽⁵⁾。項目は一部を示しており、全12項目である。また、この質問項目は、「私は」と「若い人たちは」と異なる主語で同じ内容を訊ね、「私はどうすべきか」と「社会はどうすべきか」という2種類の規範意識について調査している。

日本語

次の項目についてあなたの普遍的な考えと一致するものに○をつけてください。

①とてもそう思う ②まあまあそう思う ③どちらとも言えない ④あまりそうではない ⑤まったくそうではない

	①	②	③	④	⑤
1 通常、私は老人を世話する/世話すると思う					
7 通常、若い人たちは老人を世話しなければならない					

韓国語

다음 항목에 대해, 귀하의 보편적인 생각과 일치하는 것에 ○를 표시해 주십시오.

①매우 그렇다 ②대체로 그렇다 ③어느 쪽이라고도 말할 수 없다 ④대체로 그렇지 않다 ⑤전혀 그렇지 않다

	①	②	③	④	⑤
1 보편적으로 나는 노인들을 보살핀다/보살필 것이다					
7 보편적으로 젊은 사람들은 노인들을 보살펴야만 한다					

英語

Tick(✓)the column that corresponds to your response to the statements below.

(1)Completely agree (2)Partly agree (3)Neither (4)Partly disagree (5)Completely disagree

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1 Generally speaking, I help elderly people or I try to help them					
7 Generally speaking, young people should take care of elderly people					

図3に結果を示す。シンガポールとタイは、

2 規範意識については、チョン・ミエの「孝意識」尺度を一部改変して使用した(韓国老年学フォーラム編, 2010)。

3 ここでは、グラフの見やすさを考慮して上記の表とは反対に、3で得点を反転させ5と1、4と2を入れ替えて、値が高いほど「そう思う」傾向が強いようにしている。

「老人を尊敬する」、「老人を喜ばせる」などの割合が日本と韓国と比較して高いことが特徴的である。また、「私は」を個人の認識、「若い人たちは」を規範意識と考え、2つの回答の相関係数を調べることで、関連の度合いを調べた。結果を表1に示す。

表1. 規範意識と個人の認識の相関係数

	日本	韓国	シンガポール	タイ
老人を世話する	0.271	0.380	<u>0.530</u>	0.360
老人に財政的な助けをする	0.333	<u>0.450</u>	0.261	0.415
老人を尊敬する	0.533	0.694	<u>0.853</u>	0.688
老人の言葉を注意深く聞く	0.457	<u>0.714</u>	0.669	0.624
老人を喜ばせる	0.408	0.480	<u>0.642</u>	0.419
老人と持続的に接触する/会う	0.250	0.356	0.404	<u>0.445</u>

各質問項目において一番高い値をもつ国を下線で記している。「老人を尊敬する」ではシンガポールが、「老人の言葉を注意深く聞く」では韓国が、高い値をもつことがわかった。

すべての地域で個人の意識と規範意識には正の相関が見られるが、とりわけ韓国とシンガポールでは、個人からの視点と社会からの視点の関連が強いことが示唆された⁴。

3-4 社会における高齢者の位置づけ

各環境における高齢者の処遇についてどのような考えを持っているのかを知るために、以下の質問を行った。項目は一部を示しており、全7項目である。

日本語

一般的に老人についての処遇はどうだと思いますか？各項目についてのあなたの考えを右の①～⑤番の中から選んでください。	
①とても尊重されている ②まあまあ尊重されている ③あまり尊重されていない ④まったく尊重されていない ⑤よく分からない	
	該当番号
家族から	
若者世代から	

4 韓国では個人の意識と規範意識の相関度合いが強いにも関わらず高齢者に対するイメージは4地域の中でもっともネガティブなものになっている。この点についてはさらなる分析が必要である。また、日本では他国ほど相関が強くないにも関わらず高齢者イメージは4地域の中でポジティブな要素が多い。これらを解釈するための、個人の意識と規範意識および高齢者イメージの関係の説明が今後の課題である。

韓国語

일반적으로 노인에 대한 대우는 어떻다고 생각하십니까? 각 항목에 대한 귀하의 생각을 오른쪽 ①~⑤ 번 중에서 골라 주십시오.	
①매우 존중받고 있다 ②대체로 존중받고 있다 ③그다지 존중받지 못 한다 ④전혀 존중받지 못 한다 ⑤잘 모르겠다	
	해당번호
가족으로부터	
젊은 세대로부터	

英語

In general, what do you think about how elderly people are treated? Choose a response from (1) to (5) which reflects your feelings.	
(1)They are highly respected. (2)They are respected. (3)They are not really respected. (4)They are not respected at all. (5)I'm not sure.	
	Choice
By their family	
By young people	

図4に結果を示す⁵。タイが企業において高齢者が尊重されていると評価する点数が他の国に比べ著しく大きいことがわかった。

3-5 高齢者との関わり

調査対象者の高齢者との関わり、ここでは祖父母との同居経験や世話経験について調査結果を示す。

3-5-1 祖父母との同居経験

祖父母との同居経験について、4か国の結果をまとめたものを表2に示す。

表2. 祖父母との同居経験の有無

	日本	韓国	シンガポール	タイ
同居経験あり	127 (41.2%)	116 (40.3%)	62 (54.9%)	74 (74.0%)
同居経験なし	181 (58.8%)	172 (59.7%)	51 (45.1%)	26 (26.0%)
合計*	308	288	113	100
*未回答の日本4人、韓国12人、シンガポール1人、タイ1人は除く。				

5 図3と同様に、グラフの見やすさを考慮して上記の表とは反対に、3で得点を反転させ5と1、4と2を入れ替えて、値が高いほど「尊重されている」傾向が強いようにしている。

タイの同居経験ありの人数が、他の3か国と比較して、かなり高いことがわかった。これは、タイにおいて祖父母と孫による隔世代世帯 (skipped generation households)⁶が多いことが背景にあると考えられる。

3-5-2 高齢者の世話経験

祖父母の世話経験の有無についての結果を表3に示す。

表3. 祖父母の世話経験の有無

	日本	韓国	シンガポール	タイ
世話経験あり	93 (30.7%)	91 (31.6%)	34 (30.1%)	91 (90.1%)
世話経験なし	210 (69.3%)	197 (68.4%)	79 (69.9%)	10 (9.9%)
合計*	303	288	113	101

*未回答の日本 9 人、韓国 12 人、シンガポール 1 人は除く。

日本、韓国、シンガポールにおいて世話経験は30%程度であり、類似した割合となった。一方、タイでは世話経験は90%以上と著しく高いことがわかった。また、世話経験について、負担の軽重により2つのグループに分類した。その結果は表4の通りである。

表4. 世話経験の詳細

	日本	韓国	シンガポール	タイ
日常の周りの世話のみ	57	48	20	47
「病気の看護」、「食事または入浴介助」、「排泄介助」のいずれかを経験	34	40	14	43
未回答	2	3	0	1

3-5-3 同居経験と世話経験の関係

同居経験の有無と世話経験の有無について、クロス集計を行った結果を表5～8に示す。

表5. 同居経験と世話経験 (日本)

日本	世話経験あり	世話経験なし
同居経験あり*	49	77
同居経験なし**	43	133

*世話経験についての未回答 1 人を除く。
**世話経験についての未回答 5 人を除く。

表6. 同居経験と世話経験 (韓国)

韓国	世話経験あり	世話経験なし
同居経験あり*	58	56
同居経験なし**	30	135

*世話経験についての未回答 2 人を除く。
**世話経験についての未回答 7 人を除く。

表7. 同居経験と世話経験 (シンガポール)

シンガポール	世話経験あり	世話経験なし
同居経験あり	27	35
同居経験なし	7	44

表8. 同居経験と世話経験 (タイ)

タイ	世話経験あり	世話経験なし
同居経験あり	72	2
同居経験なし	18	8

さらに、同居経験の有無と世話経験の詳細についてもクロス集計を行った。結果を表9～12に示す。

表9. 同居経験と世話経験詳細 (日本)

日本*	同居経験あり	同居経験なし
日常の周りの世話のみ	28	28
「病気の看護」、「食事または入浴介助」、「排泄介助」のいずれかを経験	20	14

*世話経験ありと答えた人の中で、世話経験の詳細についての未回答 2 人、同居経験についての未回答 1 人を除く。

6 https://academic.oup.com/gerontologist/article/55/Suppl_2/607/2488805, 最終アクセス 28 Nov, 2018

表10. 同居経験と世話経験詳細（韓国）

韓国*	同居経験あり	同居経験なし
日常の周りの世話のみ	29	17
「病気の看護」、「食事または入浴介助」、「排泄介助」のいずれかを経験	26	13
*世話経験ありと答えた人の中で、世話経験の詳細についての未回答3人、同居経験についての未回答3人を除く。		

表11. 同居経験と世話経験詳細（シンガポール）

シンガポール	同居経験あり	同居経験なし
日常の周りの世話のみ	19	1
「病気の看護」、「食事または入浴介助」、「排泄介助」のいずれかを経験	7	7

表12. 同居経験と世話経験詳細（タイ）

タイ*	同居経験あり	同居経験なし
日常の周りの世話のみ	37	10
「病気の看護」、「食事または入浴介助」、「排泄介助」のいずれかを経験	35	7
*世話経験ありと答えた人の中で、世話経験の詳細についての未回答1人、同居経験についての未回答1人を除く。		

表13. 同居、世話を2要因とする分散分析

	日本	韓国	シンガポール
交互作用			
暇だ-忙しい	0.036	孤立-連帯	0.048
弱い-強い	0.031		閉鎖的-開放的
非生産的-生産的	0.007		0.026
主効果（同居）			
依存的-自律的	0.047	弱い-強い	0.015
		遅い-速い	0.045
		厳しい-優しい	0.048
主効果（世話）			
好ましくない-好ましい	0.019	単純だ-複雑だ	0.032
間抜けだ-賢明だ	0.001	厳しい-優しい	0.019
			保守的-進歩的
			0.014
			灰色-バラ色
			0.029
			受動的-能動的
			0.049
			感情的-理性的
			0.009
			閉鎖的-開放的
			0.002

表の数字はp値を表す。

表8のタイの結果で、同居経験あり、世話経験ありの割合が非常に高いことが、著しい特徴である。他の3か国では、同居経験なし、世話経験なしの割合が一番高い。このことは、タイにおいて隔世代世帯が多く、祖父母との関わりが非常に強いこと、他の3地域では関係が希薄になりつつあることが推察される。

4 祖父母との同居・世話経験が高齢者イメージに与える影響

身近な高齢者である祖父母との同居経験や世話経験が高齢者イメージに及ぼす影響について検証する。ここでは、同居経験及び世話経験を2要因とする分散分析をSD法の各質問項目に適用して、その影響を調べた。分散分析の結果を表13に示す。タイは「世話経験あり」が90%を超え偏りが大きいいため、分散分析は行っていない。

日本では「暇だ-忙しい」、「弱い-強い」、「非生産的-生産的」、韓国では「孤立-連帯」、シンガポールでは「閉鎖的-開放的」で有意な交互作用が認められた。また、同居経験の有無で有意な主効果が認められた項目は、日本では「依存的-自律的」、韓国では「弱い-強い」、「遅い-速い」、「厳しい-優しい」、シンガポールでは「尊敬できない-尊敬できる」であった。世話経験の有無で有意な主効果が認められた項目は、日本では「好ましくない-好ましい」、「間抜けだ-賢明だ」、韓国では「単純だ-複雑だ」、「厳しい-優しい」、シンガポールでは「保守

的-進歩的」、「灰色-バラ色」、「受動的-能動的」、「感情的-理性的」、「閉鎖的-開放的」であった。

特にシンガポールでは、世話経験があることにより、高齢者イメージが向上することが示唆された。シンガポールにおいて、世話経験の有無によるSD法の結果を図5に示す。

5 おわりに

本研究では、韓国・タイ・シンガポール・日本の4か国の大学生を対象として、大学生が抱く高齢者イメージの調査及び比較を行った。また、祖父母の同居経験及び世話経験が高齢者イメージに影響を及ぼすことを示した。今後は、さらに分析を進め、世代間連携を円滑に進める上で重要となる、高齢者イメージを肯定的に変化させる要因について明らかにしていきたい。

謝 辞

本研究の調査にご協力をいただきました韓国、シンガポール、タイ、日本の学生の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本研究は、JSPS科研費（15K01882）の助成を受け

て実施した研究の一部を取りまとめたものです。

参考文献

- [1] 畔津忠博・金恵媛・吉永敦征、2017、「大学生が抱く高齢者イメージに関する日韓比較—多主体間の長寿文化共有の試み—」、『山口県立大学学術情報 高等教育センター紀要』1：pp. 123-130
- [2] 畔津忠博・金恵媛・吉永敦征、2018、「高齢者との接触経験が若者の高齢者像の生成に及ぼす影響に関する日韓比較」、『山口県立大学学術情報 国際文化学部紀要』24：pp. 67-73
- [3] 堀薫夫・大谷英子、1995、「老人イメージに関する調査研究—生涯教育の視点から—」『大阪教育大学生涯教育計画論研究室』、<http://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/handle/123456789/4204>
- [4] Government of Singapore, Pioneer Generation Package, <http://www.pioneers.sg/>, 2018年11月28日アクセス
- [5] 韓国老年学フォーラム編、2010、『老年学尺度集』、ナナムの家：p. 330

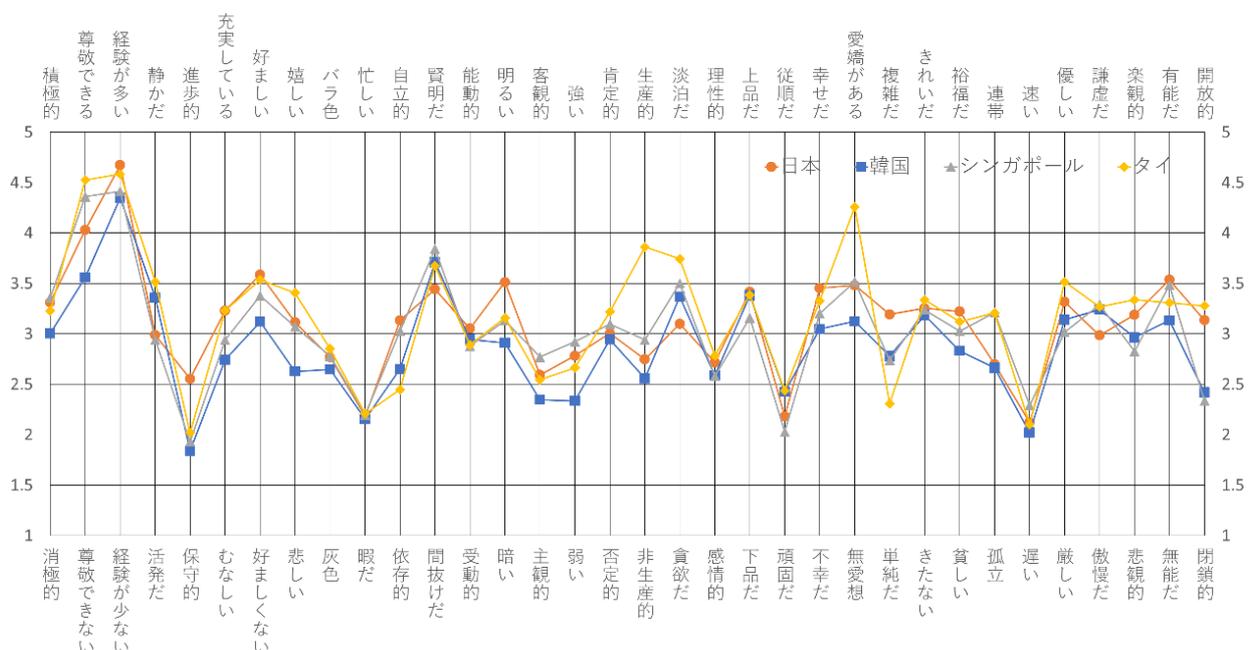


図1. SD法。値が高いものほど肯定的な評価を示す。

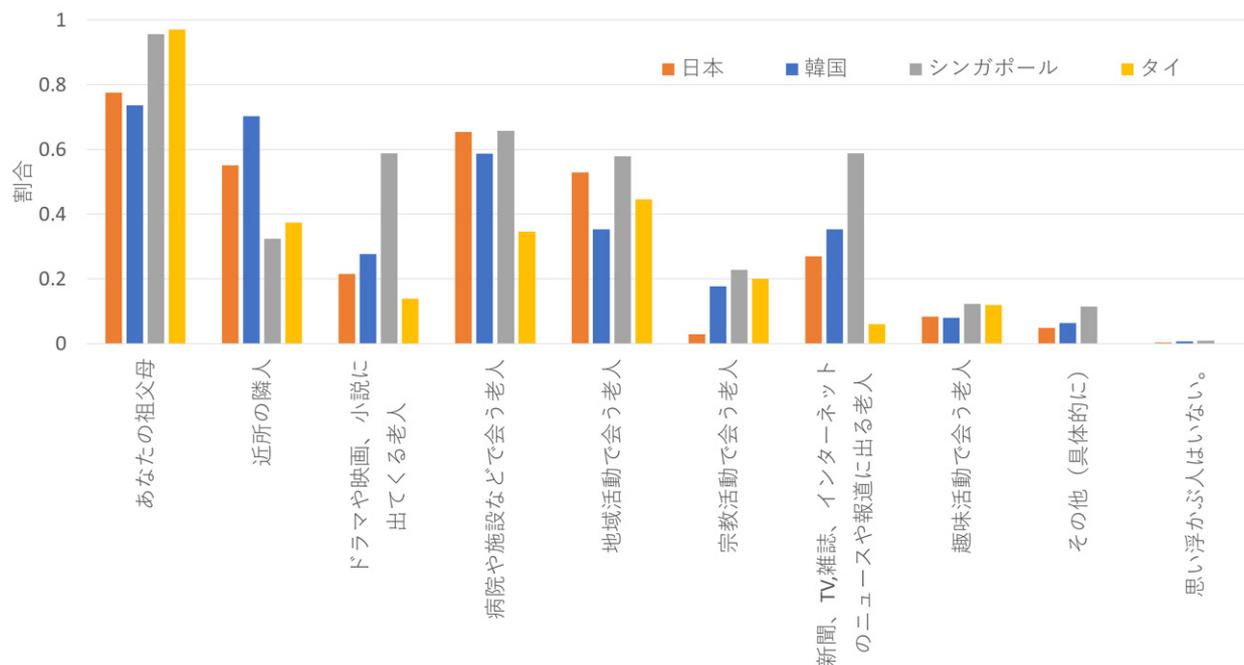


図2. 高齢者で思い浮かべる人。縦軸は割合を示し、値が大きいほど思い浮かべる人であることを示す。

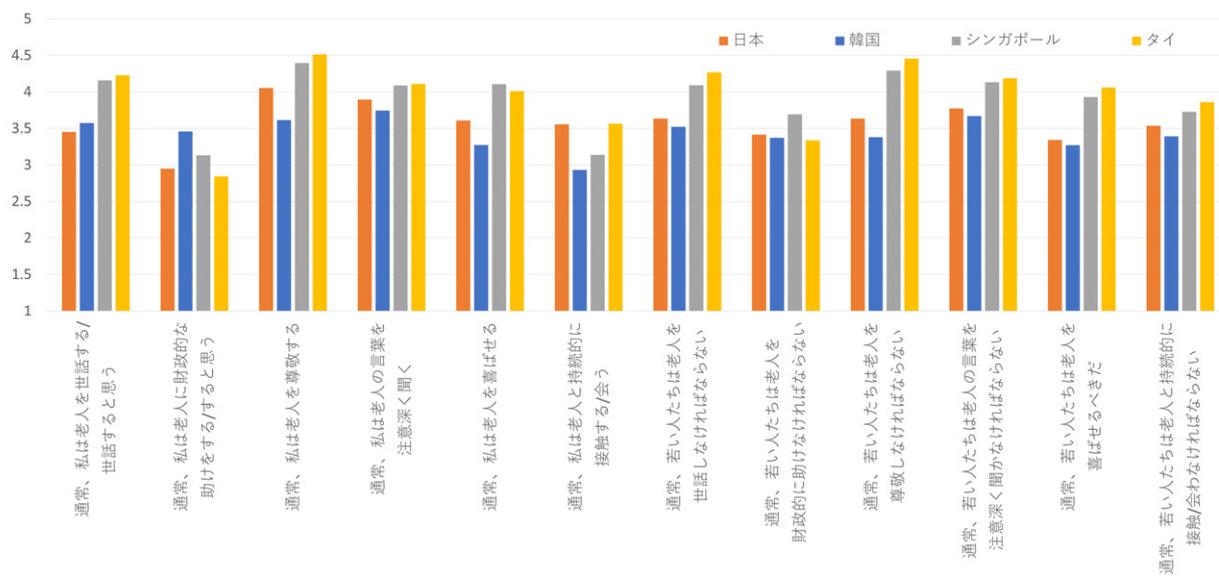


図3. 高齢者に対する普遍的な考え方。「とてもそう思う」ほど5に近くなり、「まったくそう思わない」ほど1に近くなる。

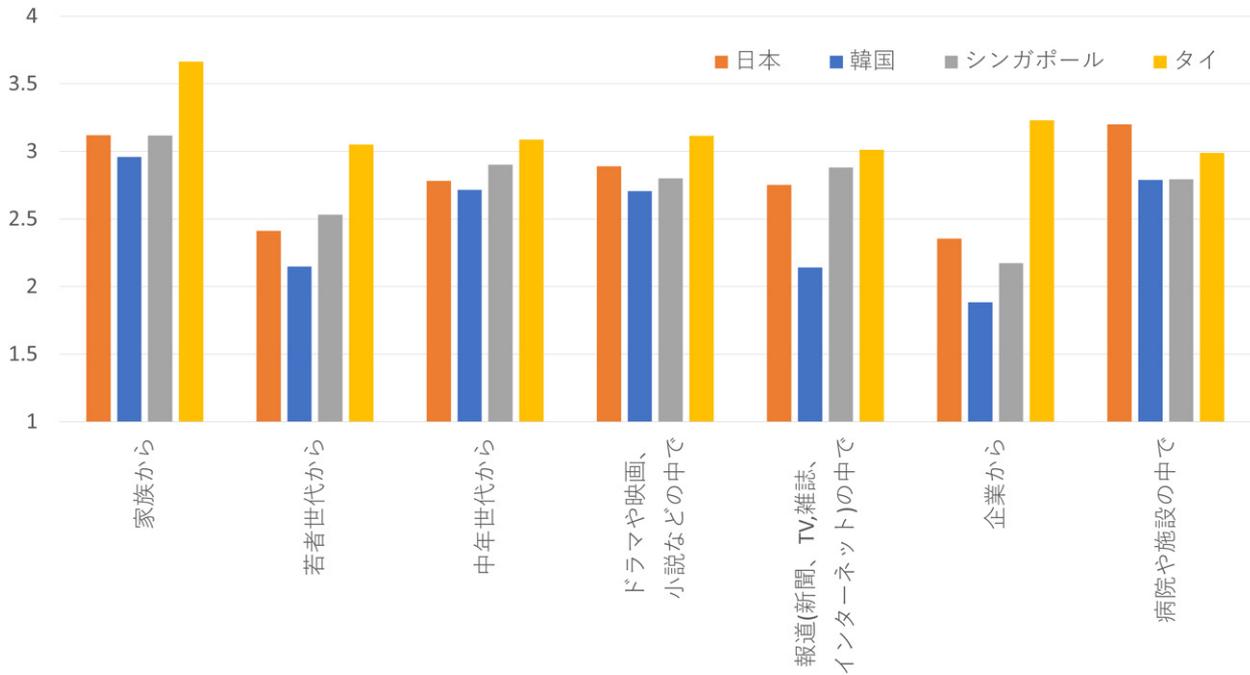


図4. 高齢者についての処遇。「とても尊重されている」と思うほど4に近くなり、「まったく尊重されていない」と思うほど1に近くなる。

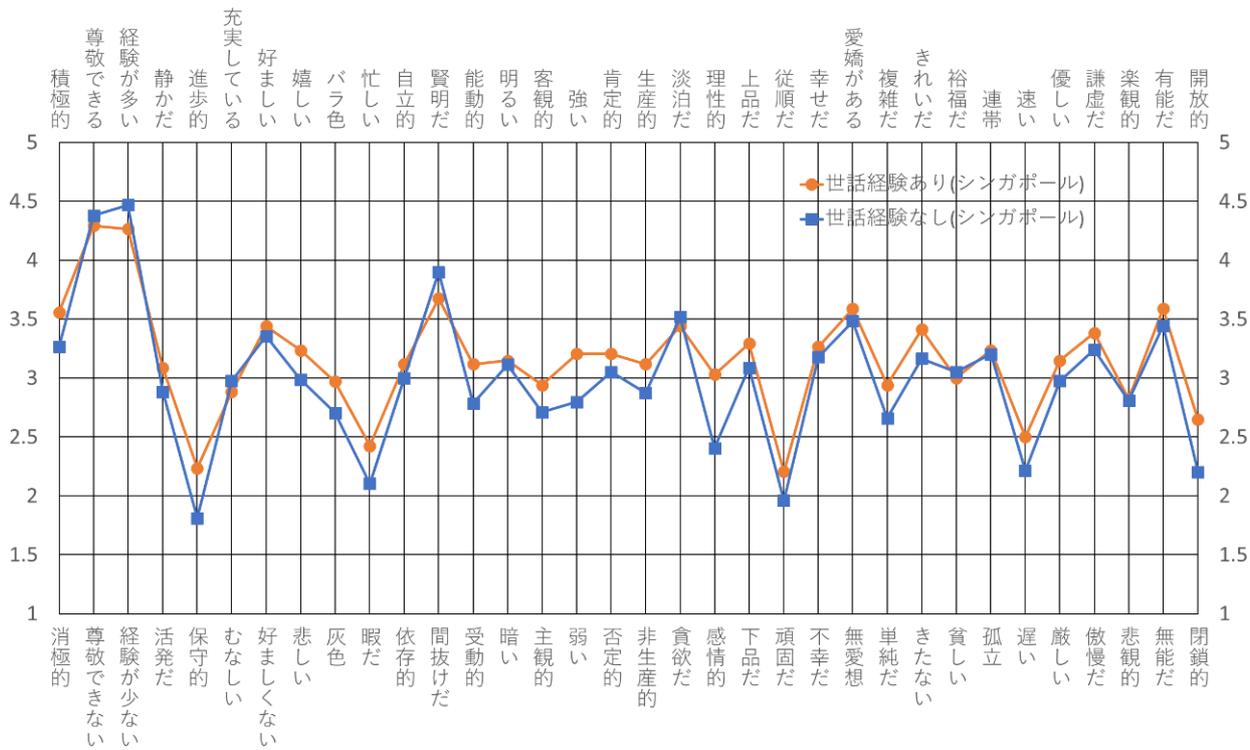


図5. シンガポールにおける世話経験の有無によるSD法の結果。